

式辞

柔らかな春の日差しに包まれ、ここ双葉ヶ丘の木々のつぼみも日に日になくなってきました。生命の息吹が感じられる穏やかな季節の中、「6名の卒業生の旅立ちとなりました。

本日は、綾部市教育委員会教育委員「大島 友紀子（おおしま ゆきこ）」様、綾部市議会議員「酒井裕史（さかい ひろふみ）」様、本校PTA会長「澤端 慎吾（さわはた しんご）」様、学校運営協議会委員の皆様にご臨席を賜り、ここに令和六年度第七十八回卒業証書授与式を挙行できますことを嬉しく思います。日頃のご支援、また卒業生「6名の前途を祝しての、温かい励ましに対しまして、高いところからではありますが、厚くお礼申しあげます。

さて、卒業生のみなさん、今、9年間の義務教育を終え、卒業証書を手にしました。本当に卒業おめでとう！生徒会スローガン「繋ぐ想いをカタチに」を掲げ、下級生と力を合わせ、八田中学校の一時代を築きました。学校の文化を発展させ、安定した学校生活を作りました。正に校歌にある「時代の民」「文化の民」「平和の民」の実践でした。今日、本校を巣立つにあたり、2つの話をします。

まず、「どのように生きていけばいいか」についてです。この僅か3年の間にも世界は大きく変わって

きました。記録的な猛暑、生成^①の脅威、今後100億を越えると予想されている世界の人口増加など、いずれも一国だけでは対応できない「答えのない問い」です。また、いまだ戦争や紛争を減らすことができておらず、戦争を正当化し、理由があれば戦争をしてもかまわないという信じ難い現実もあります。U^②N^③のに関しては、自由に情報を発信することが可能となり、便利さと同時に「特定の相手を攻撃する道具」となってきました。現実の世界で戦争を知り、ネットの世界で差別や攻撃を知り、一歩間違えば知らず知らずのうちに若者の心は誤った方向へ導かれてしまうのではないかと危惧されます。人間は「どちらへ進めば良いのか」を教えてくれるコンパスを失ったとも言われています。みなさんは将来、具体的な職業を決め、社会人として生活を始めることになるでしょう。その時、「社会人として何を職業とするか。」ということと同時に、「社会人としてどのような生きていくか。」このことをしっかりと持ってください。

ある人は面接の練習で、「将来のイメージ」は、まだ具体的に見えていないが、人の役に立つことがしたいと言っていました。どのような仕事でも社会というシステムの中では、当然誰かの役に立っているのですが、誰かの役に立ちたいと思って仕事を決めるかどうかは、もしかするとその後の人生に大きな差を生み出すかもしれません。心臓外科医の天野篤さんは次のように著書で書かれています。若いうちから人の役に立つ訓練をすることが大切だ。電車で

お年寄りに席を譲る、困っている人がいたら「どうしましたか」と声をかける。こういうことを日常の中で普通のこととしてできる人になってほしい。これがきつと将来仕事を続ける上で生きてくる。三年前の君たちの入学式では、「うまくいっていい人に目を向けて生活できる人になつてほしい。」と伝えました。高校の3年間でも周りに目を向け、人の役に立つ訓練を続けてください。

二つ目は、命を大切にし、世の中が変わっていくところをしつかりと見届けるということです。今は便利な時代になりましたが、その便利さは過去に生きていた人々が造り上げてきたものであり、私たちはその上で暮らしています。つまり、君たちが築く生活の上に未来の人々の生活があるのです。生徒会スローガン「繋」を地球規模で考え実践してください。故事成語「雨垂れ石を穿つ」雨垂れのような小さな滴でも長い時間をかけて落ち続けると岩にも穴があく。ただ、これはコツコツと努力を続けなければいかぬ。ただ、これはコツコツと努力を続けなければいかぬ。夢は叶うと言っているではありません。努力を続けないと夢は叶うはずがないということです。物理学者の湯川秀樹さんも著書で次のように言われています。一日生きること、一歩進むことであります。この最後の「ありたい」という言葉をみなさんはどう読み取りますか。この「ありたい」は、毎日努力を続けることには難しさがあ、できないかもしれない。しかし、昨日できなくても今日こそと思、努力を続ける。そういう生き方をする人でありたい、ということではないでしょうか。

長い人生にはどうしても思いもよらない大きな壁が出てきます。進む方向を示してくれるコンパスが狂ったり、コンパス自体をなくしたりした時こそ、八田中学校で学んだ3つの教え「『考え抜く姿勢』」「新しいことに挑戦する勇氣」「一人ではできないことへの協力」を使い突破していきます。自分の人生を繋ぎ、世の中がどう変わっていくのかを見届けてください。

次の生徒会スローガンは「流星群」です。これまでの先輩たちが残してくれた多くのことをベースに、一人一人が個性を生かし、今、光を放ってくれることでしょう。そして「流星群 八田中」となり、新たな伝統を築いていきます。下級生の頑張りを楽しみにしていただきます。

最後になりましたが保護者の皆様一言お祝いを申しあげます。「本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。」今日、こうして卒業の喜びの日を迎えられましたことは感慨もひとしおかとお拝察申しあげます。この三年間、多大なるご支援・ご協力をいただきましたことに、職員一同厚くお礼申し上げます。

また、地域の皆様におかれましては、地域と共にある学校を目指してお力添えをいただきましたこと感謝申しあげます。

ご来賓の皆様、保護者の皆様、そして先日の「三年生を送る会」で本校の伝統を引き継ぐ決意を表した在校生の皆さんと共に、卒業生の輝かしい未来に夢を託し、式辞といたします。

物語はここから始まる！

令和七年三月十四日

綾部市立八田中学校

校長 小林 孝伊